

## せいきょう連ニュース

CO-OP 岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315

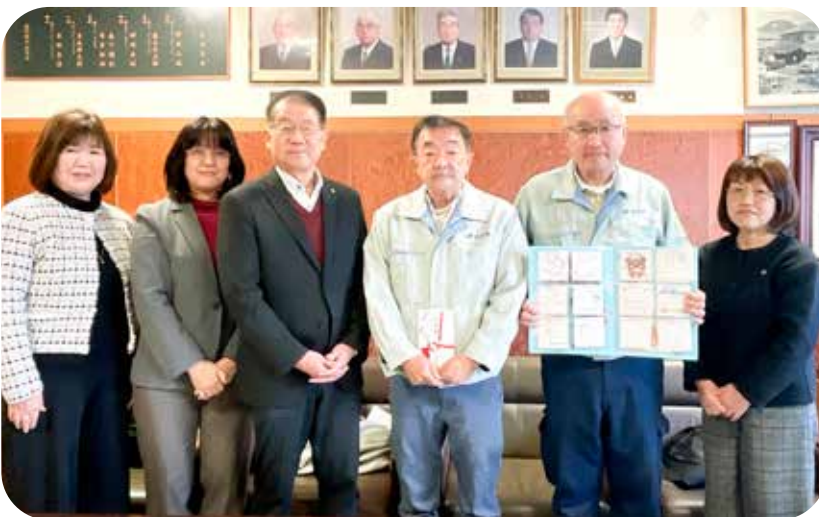
## 会員生協トピックス

## おかやまコープ

## カキ大量死の原因調査支援・漁協応援のため寄付金を贈呈

おかやまコープは、瀬戸内海でカキの大量死が確認されていることを受け、県が行う「カキ大量へい死の原因究明調査」を支援するため、「せとうち里海再生支援基金※」から寄付金20万円を贈呈しました。昨年12月23日、この贈呈式が行われました。

また、1月23日・27日、被害を受けたカキ生産者を支援するため、日生町漁協・邑久町漁協・笠岡地区漁業連絡協議会に対し、組合員から寄せられた応援メッセージとお見舞金を贈呈しました。



日生町漁協 (1月23日)



寄せられた応援メッセージ (一部)

※せとうち里海再生支援基金…瀬戸内の豊かな里海を育てる活動を支援していくことを目的に積み立てられた基金。県産の農畜水産物を主原料にコープが開発した商品や、県内商品である「おかやま育ち」商品の供給高の一部を積み立てた「コープ地域づくり協働基金」から拠出されたものです。

## 子育て応援「100か月CO・OP」を実施中



おかやまコープは、日本生活協同組合連合会および日本コープ共済生活協同組合連合会が掲げる子育て応援の新コンセプト「100か月CO・OP」のもと、宅配や店舗、CO・OP共済などの事業と活動を通じて子育て応援に取り組んでいます。「100か月CO・OP」とは、お子さんの誕生前から小学校入学までの「はじめの100か月」を応援するコンセプトです。

子育てイベント等で、おかやまコープの子育て応援の取り組みをまとめたリーフレットを配布するなど、広くお知らせしていきます。



おかやまコープの子育て応援リーフレット

こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

## 国際協同組合年記念イベント 映画上映会 「遺体～明日への十日間」 開催報告

■ 日時：2026年2月15日（日）

■ 場所：山陽新聞社さん太ホール 岡山県岡山市北区柳町2-1-1 山陽新聞社本社ビル

2026年2月15日（日）に山陽新聞社さん太ホールにおいて、国際協同組合年（IYC2025）を記念して、映画上映会「遺体～明日への十日間」を開催しました。

本取り組みは、2025年度の防災・減災の取り組みとして、東日本大震災から15年の節目に、いま一度災害について考えていただく機会として企画しました。

午前・午後の2部制で実施し、1Fホワイエで写真・パネル・防災グッズの展示を行い、2Fホワイエでは株式会社白獅子によるVR災害体験コーナーを実施し、映画の内容だけでなく、受付から開演までの時間で、災害への備えを喚起しました。

防災士として取り組まれている方々にも参加いただき、様々な感想もいただきました。

映画の内容はルポルタージュにもとづいているため、実際に被災した際の想像力をかきたてるものとなっています。

引き続き、県民の皆さまへの啓発活動を展開していきます。



### 就実生協



## 集めてお得！ シールラリー企画実施

就実生協学生部seedSでは、生協ショップにて冬の購買企画「シールラリー」を実施しました。2025年12月1日～12月26日の期間で、200円以上購入するとシールを1枚配布し、4枚集めるごとに景品（お菓子）と交換できる企画です。台紙1枚分（シール20枚）を集めるとドリンク1本をゲットできる特典も用意し、組合員が気軽に参加できる企画として展開しました。参加者は700名以上で、好評につき実施期間も延長しつつ、多くの学生に楽しんでもらえる企画となりました。

### 岡山大学生協

## 2026年度 新入生向け 大学生活準備を応援！ ～新入生サポートセンター・大学生活準備説明会～



岡山大学では2026年度に向けて、推薦入試・一般入試の合格発表があり、合わせて約2,300人の新入生が合格しました。

岡山大学生協では、一人暮らしをされる新入生向けに「新入生サポートセンター」でお部屋のご紹介を行いました。11月～3月までで受験生を含む約1,000組の方がご来場され、お部屋探しや新生活の準備を行いました。

また、オンラインや講義室での説明会を開催し、オンラインの説明会には約1,100人、来場での説明会では約300組にご参加頂いています。





## 津山医療生協



1月15日、健康集会を開催し、鳥取大学医学部の孫大輔先生が監督の短編映画「うちでいきたい」を鑑賞しました。この映画は末期がんと診断された女性が自宅で亡くなるまでの家族の役割、それぞれの思いを優しい嘘を通して表現しています。職員を含めホール一杯の60人近くの出席がありました。鑑賞後は孫先生のリモートでの講演があり、その後、グループワークで出席者間で意見交換を行いました。ご家族の看取りを経験された方も多く様々な意見が聞かれました。



## グリーンコープ生協おかやま

# 見て知って味わって! もお〜っと好きになる♡ グリーンコープのびん牛乳

3月2日南ふれあいセンターにてびん牛乳学習会を開催しました。TMRセンター（牛の飼料工場）、ミルク工場に続き、2026年7月には耶馬溪ファーム（酪農場）が開場します。エサを作り牛を育て牛乳を生産する。牛の排泄物は土に返して作物を育てる循環型酪農プロジェクトの完成までもう少し。グリーンコープのびん牛乳の歴史を学び、ノンホモ牛乳でモッツアレラチーズを作りながら、新しい牛乳の誕生を楽しみ待つ学習会となりました。



## 岡山県学校生協

# セカンドライフセミナーを開催しました

充実した退職後のくらしに備えるためのセミナーを、1月31日(土)におかやま西川原プラザにて教職員共済との共催でおこないました。将来を見据え、充実したセカンドライフにつなげていくため、社会保険制度の概要・住まいの基礎知識・日々の健康に関する情報についてご案内しました。退職前後の組合員とそこそご家族さまを中心に、64名の方にご参加いただきました。



三井造船生協

## 第3回「もちつき交流会」開催

1月17日（土）、三井生協田井店にて、新年恒例となった第3回「もちつき交流会」を開催しました。

本イベントは、三井E&S労働組合連合会 岡山支部、三菱重工マリタイムシステムズ労働組合、そして三井生協の三者共催により実施したものです。

臼と杵を使った餅つきには、子どもたちも元気いっぱい挑戦！！

普段なかなか目にすることのない昔ながらの本格的なお餅つきに、子どもから大人まで楽しむ姿が見られました。つきたてのお餅を入れた温かいぜんざいを囲みながら、笑顔が広がる和やかなひとときとなりました。

また、人気グルメの販売や店内イベントも大盛況で、地域の皆さまと楽しい時間を共有することができました。

多くのお客様にご来店いただき、新しい年の幕開けを祝う、明るくにぎやかな交流の場となりました。



## 落語で終活

3月8日（日）、三井生協の葬祭会館「ベリーズセレスト田井」で「落語で終活」が開催されました。

第一部では「桂こけ枝師匠」の落語をお楽しみいただき、第二部では「ものしものとき、慌てないために」をテーマに終活講座を行いました。

また、ご来場特典として実施した、プロの美容師によるヘアメイク付き写真撮影会（遺影に使うためのものです！）にも多くの方が参加され、皆さまに大変喜んでいただきました。

当日はたくさんの方にご来場いただき、会場は笑い笑顔に包まれ、大盛況のイベントとなりました。

岡山医療生協

## 12/6 平和のつどい冬を開催しました。

12/6(土)に「平和のつどい冬」を開催し、148名が参加しました。記念講演では元長崎市長の田上さんにお話ししていただきました。戦争体験のない世代も実感できるように、80年前の原爆が落とされる前の長崎と核によって一瞬ですべてがなくなったナガサキを対比した映像ではじまりました。ひばく者にとって、「世界中の誰にも二度と同じ体験をさせない」という強い思いから、核兵器の問題は被爆地だけの問題ではなく、生きている間に人を苦しめ壊し続ける非人道的な問題としてお話されました。

今でも世界では様々な場で戦争が起こっています。核兵器のない世界を築いていくために今私たちにできることは「声をあげること」「分断のワナにかからない」「あきらめない」と講演では伝えられました。合言葉は「Peace from おかやま」「Peace from わたし」と、ヒロシマ・ナガサキだけではなく、各地から核兵器廃絶の声を上げていくことに大きな意味があると締めくくられました。10代～80代まで幅広い方が参加され、それぞれの世代で自分に引き寄せて「原爆」や「戦争」を感じ、平和を考える機会となりました。くらしの中の「平和」を大切に、生協としてこれからも平和活動を発信していきたいと思ひます。





倉敷医療生協

## 「スポーツ輪投げ」で 新春お隣どうし交流会

倉敷医療生協笠岡・井原・矢掛の3支部と福山医療生協東支部は、1月12日に「新春お隣どうし交流会」を開催しました。

3年目を迎えたこの交流会には、両医療生協から18人が参加し、混成チームでスポーツ輪投げを競い合いました。また、次年度の新しい競技の準備として「ボッチャ」の体験もおこない、会場となったショッピングモールには歓声が溢れていました。



## 中学生の骨量測定を実施

倉敷医療生協児島ブロックでは、2月12日に倉敷市立味野中学校の1・2年生200人以上を対象に骨量測定をおこないました。

中学校からの依頼があり、成長期の栄養指導の一環で、学校給食の牛乳残量もきかけのひとつとなり、倉敷市児島保健推進室と連携した測定の取り組みができました。

生徒の関心も高く、測定結果にも一喜一憂でした。後日オンラインでの栄養指導もあったようです。

2026年 倉敷医療生協 平和企画

## 「今こそ考えよう平和と人権」

参加  
無料

5月9日(土) 13:30~16:00 くらしき健康福祉プラザ5階ホール

講演

### 「ジェンダーの視点で 核問題を見る」



ジェヌイン  
「GeNuine」代表  
とくだ ゆうき  
**徳田 悠希 さん**

- 2001年東京都出身
- 中高時代に修学旅行で訪れた広島で被爆者と出会い、核兵器問題に関心を持つ。大学進学後、核兵器廃絶への取り組みを始める。
- 2023年、ジェンダーの視点から核兵器廃絶を目指す団体「GeNuine」を立ち上げる。
- 一橋大学国際公共政策大学院修士1年。
- 2025年3月に開かれた核兵器禁止条約第3回締約国会議では、市民の立場から発言。

報告

### 「長崎の高校生平和大使の 活動について」



長崎日大高校  
いそ 芽  
知さん



被曝3世  
長崎南山高校  
たかだ けんしろう  
高田 健士郎さん

### クロストーク 「つながる つなげる 広げる 平和の取り組みを 今」

徳田さん、芽さん、高田さんと一緒に、昨年原水爆禁止世界大会等に参加した職員、組合員、地元高校生(予定)が、平和について語り合います。

どなたでも無料で参加できます。お申し込みは二次元コードから ▶▶▶



主催：倉敷医療生活協同組合 社保・平和委員会 後援：倉敷市 倉敷市教育委員会

## 「人口減少社会にどう立ち向かうか」 をテーマに組合員活動交流集会開催

2月17日（火）、2025年度組合員活動交流集会がオルガホール（岡山市北区）にて開催され、会場参加50名とオンライン参加54名が参加しました。

### 学習講演：「縮充する地方 ～参加が創り出す 人口減少社会の希望」



コミュニティーデザイナーの山崎 亮氏による学習講演では、建築デザイナーであった氏が建築をよりよいものにするには住民主体であることが重要、と気づいたことがきっかけで、コミュニティーデザインに携わるようになったことが紹介され、人口減少が確実な中、「縮充」という考え方で、経済成長ではなく、「人生こそ財産」という豊かな生活を送っている人が多い、周りにいい影響を与えるような人によるコミュニティが求められると話しました。

その運営では「楽しさ」が大切で、新しい人が来て活動が変わっていくようなスタイルはコミュニティの活性化につながっており、組合員活動でも共通するのではと提起、実践事例として秋田での年齢とともに楽しく生きるまちづくり「2240歳スタイル」を紹介しました。コミュニティーデザインの思想は生協と共通したものがあり、「自分たちで生活を協同でより良いものにしていく」という生協の源流となる協同組合の思想や、事業と活動の共存のあり方にも言及、多くの参加者から「生協の思想を改めて認識できた」、「『楽しさ』や『参加』の力に確信を持つことができた」などの感想が寄せられました。



山崎 亮氏

## 2つの生協より「地域づくり」に関する活動報告がありました

鍋谷 理恵子さん▶

生協の取り組み報告では、おかやまコープ全体理事 鍋谷 理恵子さんから、「おかやまコープの地域社会づくり課題への取り組み」と題して、2023年に始まり37の地域づくり活動とのコラボにつながった「#あいコミュニティ」の事例やフードドライブの活動など直近の取り組みが紹介されました。



河井 伸士さん▶

岡山医療生協 瀬戸支部長 河井 伸士さんからは、「医療生協瀬戸支部たまりばでのボランティア活動について」と題して、ボランティアグループ結成の動きと地域包括センターからの認知症カフェ運営の依頼とがマッチして実現されたとりくみが紹介され、地域の元気づくりにつながっていることが報告されました。



★Youtubeで見逃し配信を視聴できます。（2026年4月末まで）。

視聴ご希望の方は岡山県生協連 okayama.kenren\_coop@okayama.coop までご連絡下さい。



# 8,065人が取り組み、健康づくりや生活習慣の見直しにつなげました



ヘルスチャレンジ2025は、生活習慣の見直しと健康づくりの習慣を身につけることを目的に、「運動」「食事」「お口」を中心とした健康づくりに30日間チャレンジし健康増進を目指す取り組みです。昨年に引き続きキッズコースを含めた5つのコースを提案しました。2023年度よりおすすめコースを設定し、今年度は「お口のコース」をおすすめとしました。岡山県「健康おかやま21」協賛事業、CO・OP共済健康づくり支援企画として実施しました。岡山県をはじめ、県内すべての自治体、4教育委員会、山陽新聞社から後援をいただきました。また赤磐市・和気町の広報誌に掲載していただきました。さらに和気町の「わくわく健康ポイント」の対象となりました。



玉島歯科医院で

## 〈参加者の声から〉

- 「すみずみまでしっかり歯みがきをしよう」と鏡を手に持ち、みがく歯がよく見える様角度をかえてデンタルフロスを使っていてねいにみがきました。
- いつも食べたいものを選ぶけど、野菜や栄養的な面も考えて食事しました。
- 毎日体重を測り、人のおしゃべりやつながり、会食などを通して楽しく健康を心掛けることが出来ました。

特定非営利活動法人 適格消費者団体 消費者ネットおかやま

## 岡山県委託事業 2025年度見守り力アップ講座を8か所で開催、193名が受講。

消費者ネットおかやまが岡山県から受託して開催した「見守り力アップ講座」は消費者被害の未然防止のため、地域の見守り力アップをめざし、地域の消費者や高齢者に関わる業務に携わるさまざまな団体に被害の実態と見守りのポイントを学習していただく講座です。

デジタル化が進む中、ネットを介した消費者トラブルが急増、SNSを入口とした詐欺の被害も拡大しています。まずは自分が被害者にならない知識を持つこと、周囲の人が被害に会っていないかを気づく眼を持つこと、困ったときの相談先を知っておくことが大切ということ県内各地でさまざまな立場の人が学びました。

### 2025年度「見守り力アップ講座」開催一覧

| 開催日   | 主 催 者                     |
|-------|---------------------------|
| 7/ 8  | おかやまコープ倉敷エリア              |
| 11/17 | 倉敷医療生協 玉島浅口ブロック           |
| 11/24 | (株) 東京リーガルマインド 市民後見人養成講座内 |
| 1/23  | 岡山大学生協                    |
| 2/12  | 浅口市鴨方地区民生委員児童委員協議会        |
| 2/25  | おかやまコープ 西エリア地域社会づくりプロジェクト |
| 3/ 3  | 倉敷医療生協 乙島支部               |
| 3/14  | 岡山医療生協 虹のカフェ運営G           |



時には寸劇も取り入れて学習

## 気候変動と農業・食糧問題へ影響や 持続可能性について学習



大村課長



田中会長



松平 尚也氏

1月7日（水）オルガホールにて、県生協連・会員生協役員研修会が開催され、77名（会場45名、オンライン32名）の役職員が参加しました。県生協連田中会長の開会挨拶の後、来賓の岡山県県民生活部くらし安全安心課の大村 伸枝課長から、厳しい生活環境の中、生協と協力していきたい旨、ご挨拶をいただきました。



講演は「気候変動と食料安全保障、農業・農村の持続可能性～コメと野菜を切り口に今後の農業・食料のあり方を考える」と題して、気候変動の現状と問題点、農業を含めたフードシステムが気候変動にもたらす影響、そして、現在の米や食料の価格高騰を取り巻く状況についての3つの側面からお話いただきました。

異常気象、地球温暖化は世界的に特にここ数年で顕著で、農作物の栽培地や栽培品種なども変えていかざるを得ない状況になっています。暑さに強い品種の開発や遮光素材の利用などの対策も進んでは来ているものの、忘れてはならない視点として、農林水産分野が排出する温室効果ガスの削減が問われていること、日本では「みどりの食料システム戦略」を策定し、環境対応と生産力の向上、持続性が追求されていることに触れました。

一方、世界のフードシステムを見ると、栄養の偏り、食料廃棄、自然資源の危機など「隠れたコスト」が膨大であり、「私たちがどのように食べるか、世界がどのように活用されるか」を考え行動することが必要だ、と述べました。その中で生協には生産者と消費者がともに考える仕組みを持っていること、社会的な意見表明ができることへの期待をいただきました。

米をめぐる問題では、「令和の米騒動」で9割の消費者が米の購入を困難に感じていることや農政の対応が不十分だったこと、生産者の生産基盤の弱体化などで、消費者と適正価格の乖離も起きてきたことが述べられました。これらに対応していくためには生産者と消費者の声が反映された、市場原理に任せるだけでない「食の民主主義」が必要ではないかと述べ、日々の買い物行動で実践していくことなど、生協も含めた市民活動への期待で締めくくりました。

### 2026年度消費者月間講演会のご案内

## なぜ人はだまされるのか？

～潜入取材で見た詐欺・悪質商法の手口と対策～

**参加無料**

日 時 **6月6日(土)** 14:30～16:30 場 所 **オルガホール、オンライン視聴**

講 師 **多田 文明さん**



ルポライター。詐欺や悪質商法の実態を明らかにするため、勧誘現場やセミナーなどに自ら潜入する取材などを通じて、実際の手口やだましの心理をわかりやすく解説するとともに、だまされないための「情報を使いこなす力」と「断る勇気」などの対策を市民に伝えている。

▶ お問い合わせは、特定非営利活動法人 消費者ネットおかやま(☎086-230-1316)まで